

科目	家庭総合研究	単位数	2	学年	2	学級	A~I	学科	普通科 国際教 養科
----	--------	-----	---	----	---	----	-----	----	------------------

学習の到達目標	生活の科学と文化、子供の発達と保育、高齢者の生活と福祉などに関する知識と技術を総合的に取得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。また、生活文化に対する認識を深め、生活関連の職業についても関心を高める。
使用教科書 副教材等	「家庭基礎 ともに生きる 明日をつくる」 教育図書 「新カラーチャート食品成分表」 教育図書

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	I 課題研究 住生活	<ul style="list-style-type: none"> 住生活を取り巻く問題について、自らテーマを選び、研究・調査を行い、間取りの平面図を作成する。
	5	II 暮らしのなかの消費 消費生活	
	6	III 家族と保育 1 現代の家族・家庭 2 家庭と法律 3 乳幼児の保育	<ul style="list-style-type: none"> 現代の家族・家庭のあり方について考える。 家庭生活に関する法律について学ぶ。 乳幼児の心身の発達の特徴を学び、生活習慣や遊びと発達の関係を理解する。 子どもの成長における親の役割の重要性を考える。 子どもの福祉について考える。(夏休み中の保育実習は希望者)
	7	① 乳幼児の心身の発達 ② 生活習慣と遊びによる発達 ③ 親の役割と保育 (夏休み中の保育実習)	
	9	④ 保育実習・実験 (第2回考査)	
後期	10	IV 生活の科学と文化 1 栄養と献立 (調理実験・実習)	<ul style="list-style-type: none"> 衣生活と食生活について、より科学的に学び、さらに文化について理解する。 栄養と食物の特徴について、実験・実習を通して理解する。 被服の構成及び材料について、実験・実習を通して学び、適切な被服管理について理解する。 被服材料実験「羊毛からフェルトをつくる」を通して毛製品の取扱を学ぶ。
	11	2 衣生活の科学	
	12	① 洋服と和服の特徴 ② 被服材料実験 (第3回考査)	
	1	V 献立と調理	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習を通し、食品の調理上の性質や栄養価計算について学ぶ。 実技テストの実施。 乳幼児のおやつ、洋風料理等
	2	1 調理実習)	
	3	2 調理実験) VI 被服構成実習	<ul style="list-style-type: none"> 身近な食品を題材にして、実験を行う。 1/9 縮尺の単衣長着を和紙で製作し、和服の構成を理解する。
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	積極的に挙手し、自分の意見が表現できているか。忘れ物や遅刻をしないで授業に参加できているか。製作実習や実験などで積極的に取り組み、授業内で製作を完了できているか。	
	思考・判断・表現	レポート発表などで、自分の意見をまとめて発表できているか。問題意識を持って日常を送り、自分の生活を主体的に改善しようと努力しているか。	
	技能	調理技術・衛生観念の基本ができているか。調べ学習等で自分の意見を表現し、人に伝えられるか。	
	知識・理解	衣食住及び保育分野における基本事項について、正確に理解し、知識を深めることができたか。新聞、テレビ、インターネット、著作物等から情報を的確に精選し、活用することができるか。	
	評価方法	定期考査(第2回、第3回のみ)、プリントやノート提出、レポート提出、製作物のできばえ、授業への取り組み状況などを総合的に評価。各項目の比重は各期により異なるが、定期考査の比重が 60%~70%前後、提出物が 40%~30%前後。	
担当教諭から	実験・実習等に欠席した際には前時間の学習内容を必ず確認し、レポート等を後日提出してください。実験・実習中は安全・衛生面に、注意を払ってください。欠席しないよう日頃の健康管理に努めましょう。		